

南大分地域まちづくりビジョン フォローアップ会議通信

第2号

この通信は、南大分地域まちづくりビジョンの事業の取り組み状況や課題をフォローアップ会議で整理した内容をお知らせして、今後のまちづくりの取り組みにつなげるためのものです。

『地域まちづくりビジョン』とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。

- 本地域におけるまちの将来像・・・『後世に自慢できる住みたくなる街 みなみ大分』
- 将来像実現に向けた提言
 - ・道路をはじめとする生活基盤の整備・充実
 - ・人が集い、人が繋がる地域コミュニティの形成支援
 - ・郷土愛の醸成と豊かな歴史・文化を活かした魅力発信
- 提言に基づく提案事業
 - 三つの提言に基づき、行政と地域で役割分担しながら取り組んでいきたい事業を13項目の提案事業として掲げています。

『フォローアップ会議』とは

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、進捗状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

【フォローアップ会議を開催しました】

日時：令和2年12月17日（木）18時～
場所：南大分公民館 多目的ホール



地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗状況

会議では、全事業の取り組み状況を報告し、これをもとに意見交換を行いました。本通信では、その内容についての報告を以下に掲載します。

【提言1：道路をはじめとする生活基盤の整備・充実】

①交通渋滞の緩和対策

（概要）バイパスを整備するなど、渋滞の緩和対策を実施する。

【事業の取り組み状況】

（行政） 県道小狭間大分線の整備については、大分県へ要望を行うとともに、竹の上交差点において拡幅工事を実施している。また、大分県渋滞対策協議会で、渋滞の緩和対策について協議をしている。

【会議で出された意見】

明礪橋南側植田方面の道路拡張工事が完了すると、南大分方面の交通渋滞が予想される。また、明礪橋から田中方面に向けては通学する子どもが多いが歩道が非常に狭い、道路管理者に対策を要望してほしい。

県道小狭間大分線で賀来方面の道路拡幅工事が行われているが、深河内から竹の上の間の道路を拡幅しないと渋滞の緩和が見込めないため、大分県に早期の拡幅工事実施を要望してほしい。

②高齢者に優しい公共交通網整備

（概要）高齢者がバスの乗り換えを安全で容易にできるよう整備する（バスロータリーの設置）。

【事業の取り組み状況】

（行政）バス路線等については住民ニーズに応えられるように公共交通事業者に働きかける。また、地域ビジョンにあげられた内容は、交通事業者との勉強会等で情報共有をしていく。

③安全・安心な道路整備

（概要）道路幅が狭いことから、電柱を片側に寄せるなどの整理をしたり初瀬井路に蓋を掛けるなど、最優先で危険な通学路の整備を実施する。

【事業の取り組み状況】

（行政）「大分市通学路安全プログラム」に位置付けられた対策箇所について、道路拡幅や路面標示などの事業を実施している。また、地域内の狭い市道では、歩道整備や交通安全施設の整備等を継続的に行っている。

【会議で出された意見】

通学路で、初瀬井路に蓋を掛ければ十分な幅を確保できる歩道がある。子どもたちの安全のため、どのようにして歩道を広げるかを井路の管理者とよく協議していただきたい。

④コミュニティバス事業

（概要）南大分の病院や駅等を周遊できるコミュニティバスを運行して、誰もが気軽に病院や買い物や学びに出掛けることのできる環境をつくる。

【事業の取り組み状況】

（行政）公共交通が不便な地区においては、「ふれあい交通」を運行しているが、新たなニーズが生じた場合は、地域の意見をまとめ新ルートについて実施していく。また、高齢者の外出支援を目的として1乗車150円で利用できる長寿応援バス事業を実施している。

【提言2：人が集い、人が繋がる地域コミュニティの形成支援】

⑤各校区公民館の新設

【概要】 校区単位のイベントが行える規模の公民館を新設し、子どもからお年寄りまで利用できる校区のコミュニティの場とする。また、公園を併設することで、災害時の避難場所として位置付ける。

【事業の取り組み状況】

【行政】 校区公民館の新設には、建設費等の補助制度を設けている。

⑥南大分公民館の新設

【概要】 南大分公民館を利便性の高い場所へ移転し、学習スペースの設置、駐車場と駐輪場を拡充し、公園と子どもルームを併設するなど施設を充実させる。

【事業の取り組み状況】

【行政】 大分市公共施設等総合管理計画ではすべての公共施設等について計画的保全による長寿命化を推進している。地区公民館についても当計画及び大分市教育施設保全計画により整備を実施する予定としており、大規模改修の際には、必要に応じて周辺の公共施設の機能の集約・複合化の検討を行うこととしている。

⑦子どもと高齢者のふれあい事業

【概要】 子どもと高齢者がコミュニケーションをとり、高齢者のQOL（クオリティオブライフ）向上と子どもの居場所づくりを推進する。

【事業の取り組み状況】

【行政】 高齢者が地域の子どもやその親、学生等と一緒に食事や学習支援のほか美化活動等を行う「地域多世代ふれあい交流事業」の活用を働き掛けていく。

子どもの居場所づくりネットワーク推進事業として、子ども食堂の開設・機能強化・運営に対する補助とネットワーク会議を開催している。

南大分公民館では「三世代交流みなみおいたたこあげ大会」を開催し、地域のボランティアがたけひごづくりなどの材料の切り出しから行い、たこづくり、たこあげを実施したり、手作り豚汁を食べたりしながら三世代交流を行っている。

【地域】 各自治会では、三世代交流の「餅つき大会」や「ものづくりふれあい活動」「芋ほり大会」「イチゴ狩り」などを行っている。

⑧南大分地区各種団体連合会

【概要】 南大分地区にある各種ボランティア団体等のアドバイザー的な組織を立ち上げ、校区の課題の集約や、各種団体への支援を実施する。

【事業の取り組み状況】

【地域】 南大分地区社会教育関係団体連絡協議会にて、各団体が抱えている課題等について協議する会を実施する予定にしている。

⑨中学生と(小学校高学年を含む)と高齢者のペア活動による安全確認

【概要】 高齢者と子どもがペアとなり、日常は高齢者が見守りを、非常時は子どもたちが安否確認など助け合いを行う仕組みを作る。

【事業の取り組み状況】

【地域】 みなみおいたた未来創造まちづくり協議会において、高齢者を中心に通学路で見守り活動を実施している。また、今年度「中学生ボランティア隊」の募集を行ったところであり、今後地域で活動することとしている。

⑩地域住民同士の交流の促進～皆の顔がわかるまちづくり～

【概要】 いろんな行事への参加者が固定化し、減少傾向にある中、幅広い世代が参加できる関心度の高いイベントを開催し、連帯感を醸成する。

【事業の取り組み状況】

【地域】 みなみおいたた未来創造まちづくり協議会で花の栽培事業やウォーキングイベントを開催するほか、各自治会においても祭りや運動会などを行っている。また、まちづくり協議会を発足している校区では交付金を活用し、地域の活性化に向けた独自の取組を行っている。

【会議で出された意見】

旧城南ヶ丘幼稚園は非常に地区住民の思い入れのある施設なので、地区住民の交流の場などとして跡地を活かす利用ができるようお願いしたい。

⑪子どもから高齢者まで健康なまちづくり

【概要】 スポーツパークや河川敷を整備し、歩こう会やサイクリングのイベントなどを実施する。

【事業の取り組み状況】

【行政】 南大分スポーツパークがウォーキングやサイクリングの拠点となるような整備について、必要に応じ今後取り組んでいく。

【地域】 みなみおいたた未来創造まちづくり協議会で、地域の再発見と健康づくりを目的に「みなみおいたた発見！歩くDay」事業を実施している。

【会議で出された意見】

河川敷の道は自転車と歩行者のトラブルが多いので、事故が起きないようにライトや反射板を必ずつけるなどのルールを周知してほしい。

⑫河川を活かしたまちづくり

【概要】 昔盛んだった明礮の屋形船を復活させるなど、河川の利活用を図る。

【事業の取り組み状況】

【行政】 地域で取り組む場合は、地域活性化事業を活用し支援を行う。

【提言3：郷土愛の醸成と豊かな歴史・文化を活かした魅力発信】

⑬旧跡めぐりサポーターの育成

【概要】 南大分の歴史と旧跡を教える講座を実施し、ガイドスキルを身につけてもらう。また、旧跡のマップづくりや周遊コースづくりをし、月1回程度の散策イベントを実施する。

【事業の取り組み状況】

【行政】 南大分公民館では南大分の歴史を学ぶ講座を実施している。また、文化財課では、旧跡めぐりサポーターを支援するため、要請に応じて講師の派遣等を行っている。

【地域】 みなみおいたた未来創造まちづくり協議会で、地域の再発見等を目的に「みなみおいたた発見！歩くDay」事業を実施している。また、南大分の旧跡マップを作成し、地域の方に配布している。

